

令和5年度東海北陸ブロック研修会 次第

1. 開催日時 2023年11月27日(月) 15:00~17:00
2. テーマ 「ここから、これから、今日から、明日からも」
3. 趣旨・ブロック内の交流や情報交換、学習する機会を得て、東海北陸ブロック教職員の教育実践及び学校運営への活力とする
・全国教職員研修会に参加できなかった教職員の研鑽の場とする

4. プログラム

(1) 開会

(2) 研修

I部 報告:

- ① 介養協委員会報告(総務・政策委員会・教育力向上委員会・外国人留学生支援委員会)
- ② 各県代表報告(愛知県・三重県・石川県・富山県・岐阜県・静岡県)

II部 学生募集

- ① プレゼンテーション1「受験生の志願動向」
報告者:川辺尚也氏(進研アド専門学校・短期大学事業部営業部部長)
安部健太氏(進研アド専門学校・短期大学事業部営業部)
坂口峻氏(進研アド中部支社 企画営業部)
- ② プレゼンテーション2
「学生募集の好事例~広島県:トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校」
報告者:吉岡俊昭氏(教務主任、広島県介護福祉士会会長)
卒業生インタビュー・在学生インタビュー

III部 教育活動

- ① プレゼンテーション:
「発達障害や精神疾患など生きづらさを感じている学生へ取組」
報告者:井上理絵氏(富山短期大学健康福祉学科 副学科長)
中島眞由美氏(富山短期大学健康福祉学科 学科長)
在学生へインタビュー
- ② 意見交換会

IV部 報告 グループワークの報告

(3) 閉会

令和5年度東海北陸ブロック研修会 参加者名簿

(申し込み順) (敬称略) (2023年11月24日現在)

	氏名	所属先	備考
1	松本三知代	浜松未来総合専門学校	
2	村上貴子	浜松未来総合専門学校	
3	水野尚美	聖隷クリストファー大学	
4	篠崎良勝	聖隷クリストファー大学	
5	井川 淳史	聖隷クリストファー大学	
6	吉田 新	聖隷クリストファー大学	
7	高山暢子	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	
8	佐野仁美	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	
9	西藤宏之	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	
10	上山由紀子	高田短期大学	
11	匹田理江	鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校	
12	宮田伸朗	富山県介護福祉士養成校協会	
13	小平達夫	富山短期大学	
14	奥野勝太	富山短期大学	
15	関 好博	富山短期大学	
16	名倉 弘美	中部学院大学	
17	柘井彩喜恵	中部学院大学短期大学部	
18	吉藤 郁	中部学院大学短期大学部社会福祉学科	
19	東倉一代	中部学院大学短期大学部	
20	深澤優樹	金沢福祉専門学校	
21	加藤茜	大原介護福祉専門学校 沼津校	
22	木原裕美	名古屋大原学園 介護福祉専門学校 沼津校	
23	水田裕美	名古屋大原学園 大原介護福祉専門学校 沼津校	
24	砂川あや	サンビレッジ国際医療福祉専門学校	
25	梅田正憲	名古屋医療秘書福祉&IT 専門学校	
26	三輪早苗	金城大学	
27	新口春美	金城大学	
28	窪田真由美	北陸ビジネス福祉専門学校	
29	高木直美	日本福祉大学中央福祉専門学校	
30	山田英介	静岡福祉医療専門学校	
31	加藤浩和	静岡福祉医療専門学校	
32	吉岡俊昭	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	
33	川辺尚也	ベネッセグループ 株式会社進研アド	
34	安部健太	ベネッセグループ 株式会社進研アド	
35	坂口 峻	ベネッセグループ 株式会社進研アド	

36	吉川杉生	中部学院大学短期大学部	会長
37	中島眞由美	富山短期大学	副会長
38	清水里恵	名古屋医療秘書福祉&IT 専門学校	実行委員（愛知）
39	野田朋法	金沢福祉専門学校	実行委員（石川）
40	尾崎剛志	静岡県立短期大学部	実行委員（静岡）
41	中川 千代	高田短期大学	実行委員（三重）
42	井上理絵	富山短期大学	実行委員（富山）
43	森田 直子	中部学院大学人間福祉学部	実行委員（岐阜）
44	野田由佳里	聖隷クリストファー大学	副会長・実行委員長
45	渡邊 祐介	介養協事務局	

最新のデータや事例から読み解く！ 受験動向の変化と 高校生の進路研究 ～志望意欲を高める育成型広報～

2023年 11月27日

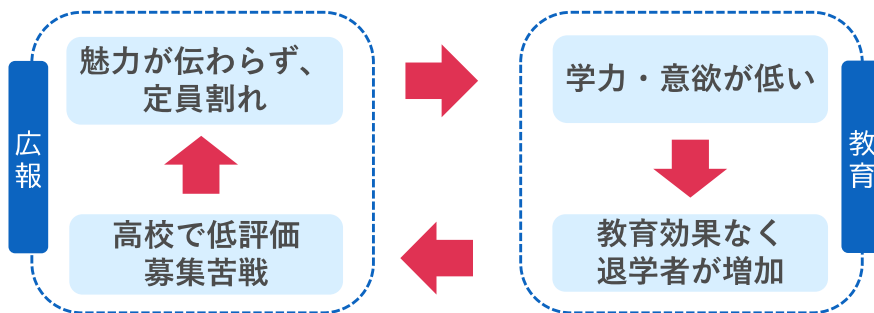
Benesseグループ 株式会社進研アド
専門学校・短期大学事業部

教育力で選ばれる学校を増やすことで、
学びを通して成長し、自信をもって社会で活躍し続ける人を増やしたい

高等教育機関の発展を通して、
若者に多様な未来を



広報と教育が空回りする「負のスパイラル」



「負のスパイラル」が加速している傾向で、
最新のデータと事例をふまえ、を断ち切る起点を掴む必要がある。



川辺 尚也

(第1部・第2部)

専門学校・短期大学営業部
部長



安部 健太

(第3部)

専門学校・短期大学営業部
愛知、岐阜、三重 担当



第1部 受験動向 と 考察

第2部 高校生の進路研究のリアル
高校生の視点 / 高校教員の視点

第3部 志望意欲を高める育成型広報
～先進事例と弊社からのご支援～



投影のみ



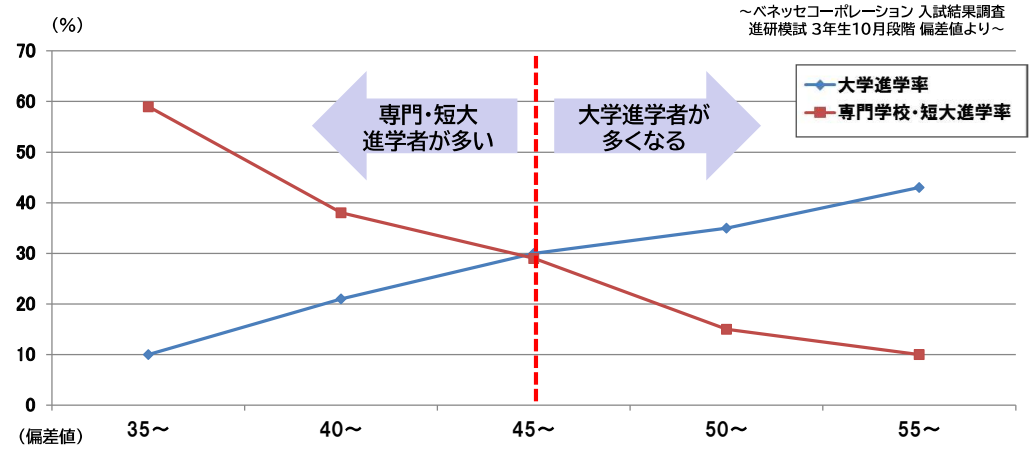
投影のみ



投影のみ

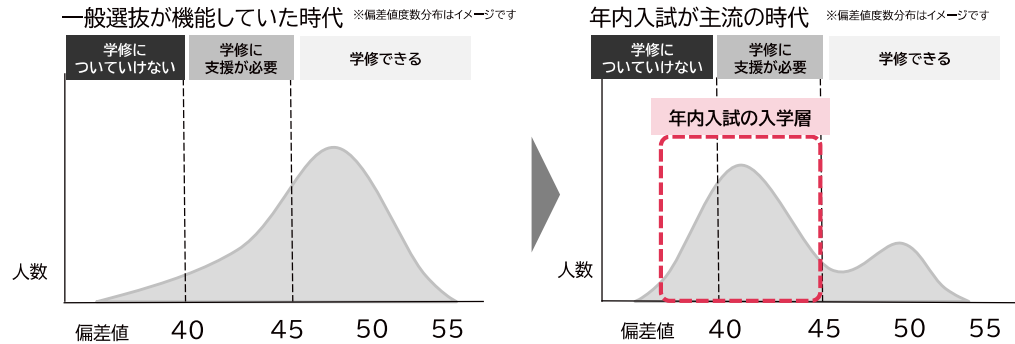


投影のみ



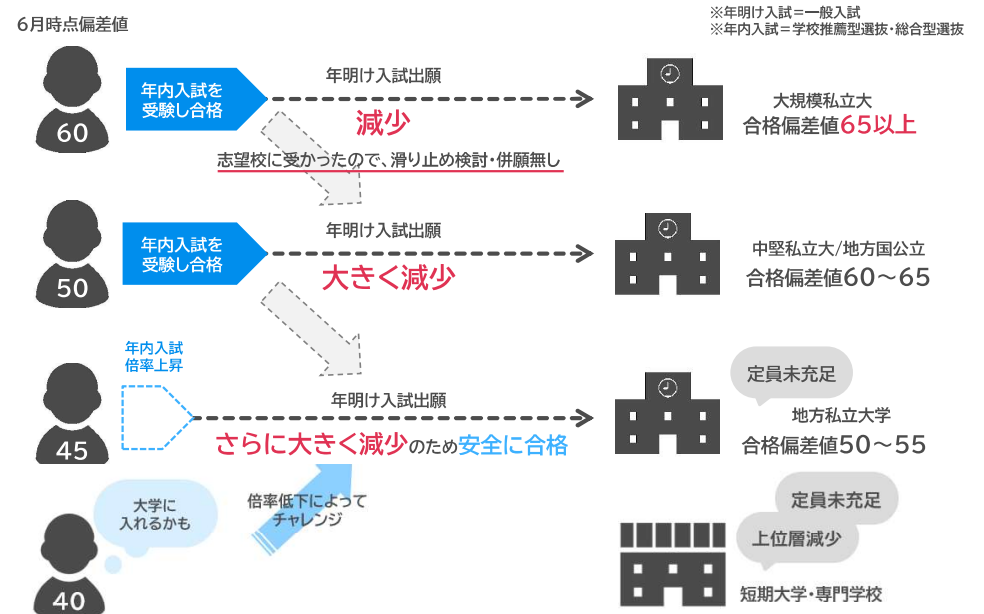
※ベネッセ調査による「大学・学部別合格者併願先BEST25」を基に、当該大学と専門学校または短期大学の両校に合格した場合の進学率をそれぞれ集計。
※2校間における進学率を算出しているため、その他の大学・専門学校・短期大学等に進学した場合の数値は集計に含まれていない。

大学進学と専門学校・短大進学の大いなる分かれ目は、偏差値45。



▼目標偏差値帯別 合格者平均偏差値 (2021年度 ベネッセ入試結果調査より)					
目標偏差値	合格者の平均偏差値				
45~54 の大学群	<table border="1"> <tr> <td>年内入試</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>一般選抜</td> <td>48.8</td> </tr> </table>	年内入試	39.5	一般選抜	48.8
年内入試	39.5				
一般選抜	48.8				

年内入試合格者の平均学力偏差値40、一般入試合格者は50を下回り、
大学が受けやすい＝競争緩和の状態になっている。



進学校の生徒

一般選抜の出願件数

平均**5.7**件

1人当たりの
資料請求件数

平均**8.8**件/1人

進路多様校の生徒

学校推薦型
総合型選抜出願件数※

1件

1人当たりの
資料請求件数

平均**6.2**件/1人

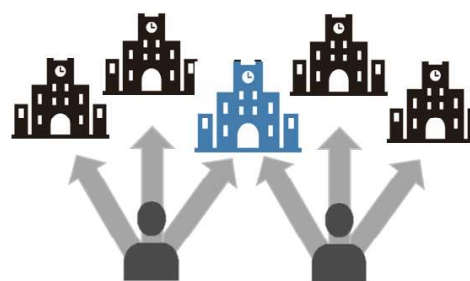


学校推薦型・総合型選抜の希望者が増えれば、高校生の接触行動も縮小

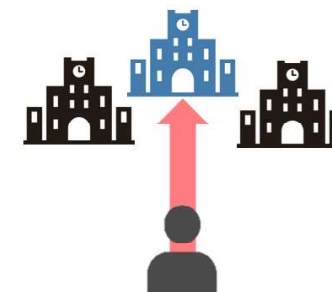
進路多様校の生徒の平均出願件数は1校で、比較検討していない傾向
資料請求数も、進学校生と比べて、進路多様校生は6.2件と少ない



これまで | いかに志望校候補に入るか



これから | いかに志望校に選ばれるか



➔ 年内入試での出願が主流となるなか、『志望校候補』ではなく『志望校』にならないといけない。学生募集戦略の転換が迫られている



第1部

受験動向 と 考察

第2部

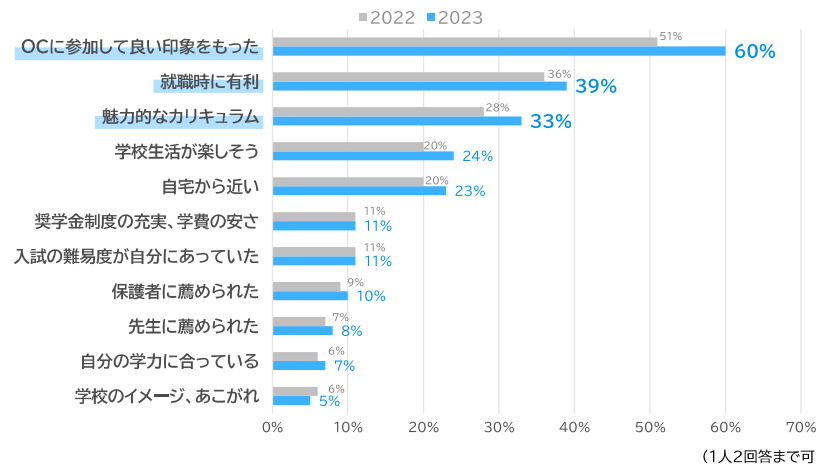
高校生の進路研究のリアル
高校生の視点 / 高校教員の視点

第3部

志望意欲を高める育成型広報
～先進事例と弊社からのご支援～



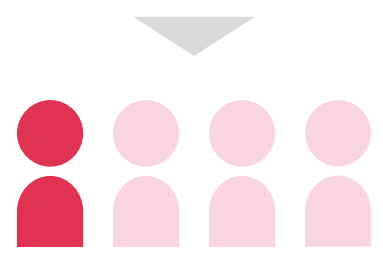
高等教育機関を選ぶ際に重視した項目は？



オープンキャンパスを重視する傾向は高まっているが
就職に有利、カリキュラムが魅力的などの『教育力』を重視

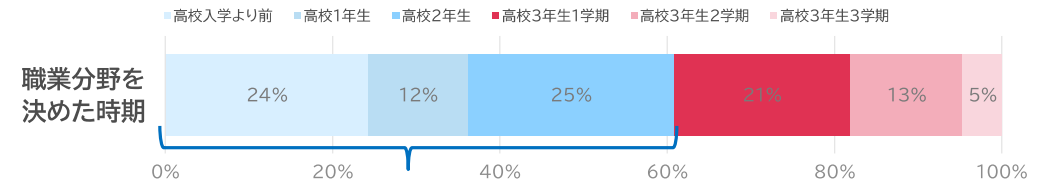


自校と同時に、他校を検討しなかった学生

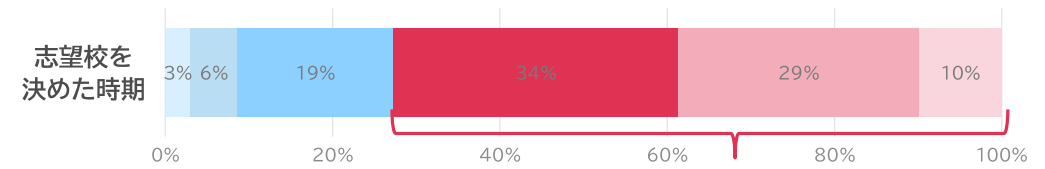


4人に1人

志望校や進路研究において、“比較検討”をしていない 専門学校・短期大学進学者は多い



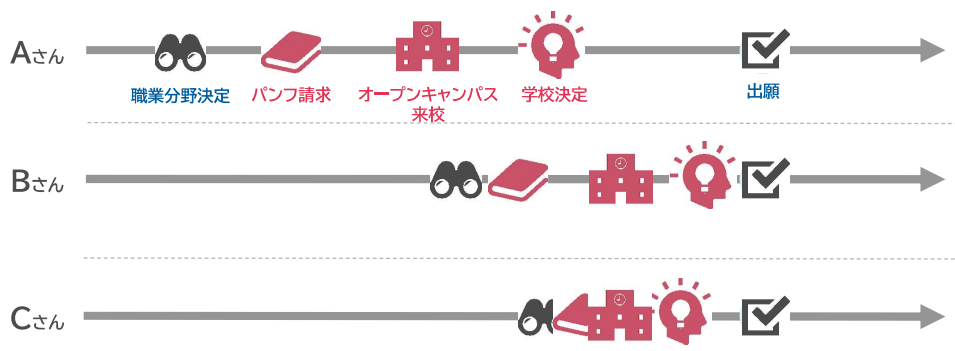
6割の学生が、3年生になる前に職業分野を決めていた



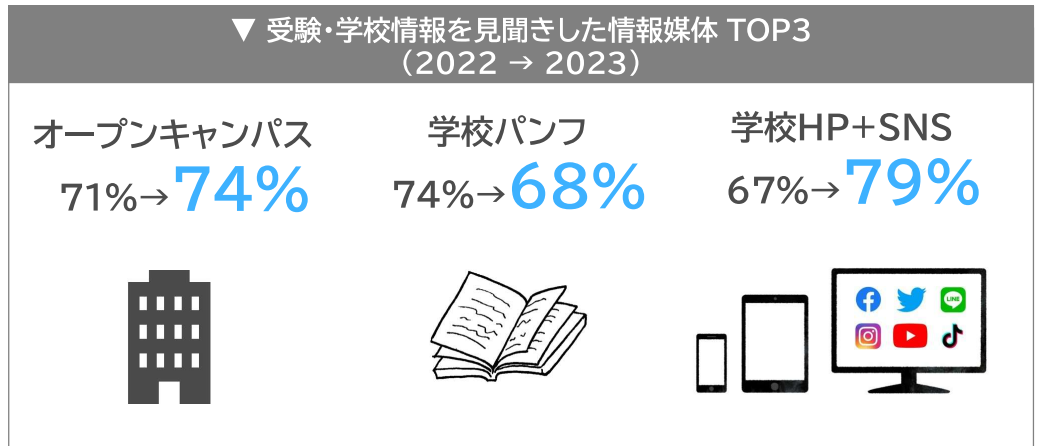
7割の学生が、高3生以降に志望校を決めていた

職業分野を決める低学年のうちにアプローチすることで 納得した志望校決定に繋がる。

	中学生	高校1年生	高校2年生	高校3年生		
				1学期	2学期	3学期

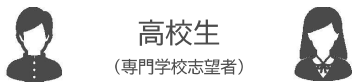


志望校検討のスケジュールや決定時期はさまざまであり、1人1人のタイミングにあわせて学校情報を発信することが重要



とても影響した+まあ影響したと回答した割合

学校HP+SNSを通じた受験・学校情報収集の割合が大きく増加 今後、SNSの活用がポイントになってくる



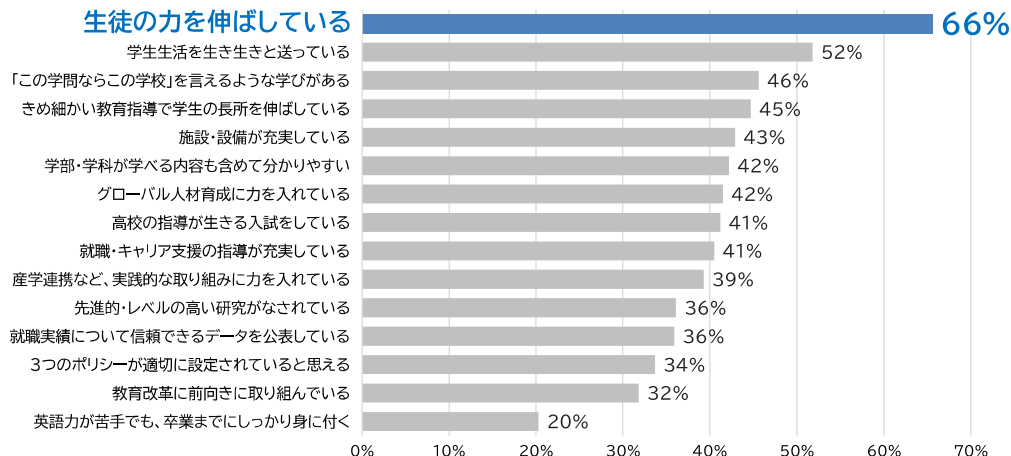
高校生
(専門学校志望者)

何を	「教育力」で進学先を選んでいる傾向 ① 学べる内容 ② 将来の就職で有利 ③ 魅力的なカリキュラム ⇒ 「この学校なら成長できる！」と思えるか
いつ	☑ 職業分野決定:低学年(高1・高2)で6割 ☑ 志望校決定:高3以降が7割で、 <u>短期間で検討している傾向</u> ⇒ 進路研究不足の一因
どのように	学校を決めるまでの <u>進路研究スケジュールは多様</u> ⇒ 個人ごとの傾向を見て、教育情報を提供する必要がある
どこで	学校HPとSNSで、 <u>学校情報を収集する割合が上がっている</u>
課題	進路研究や志望校決定で「 <u>比較検討していない</u> 」生徒がいる

自身が成長できるかの視点「教育力」で志望校検討をしており、生徒の進路研究スケジュールは多様で、ニーズに併せたOne to One広報が重要

2020年「ベネッセコーポレーション THE世界大学ランキング(日本版)」に伴う高校教員の評判調査

高校教員が「生徒に勧めたい」と思った理由

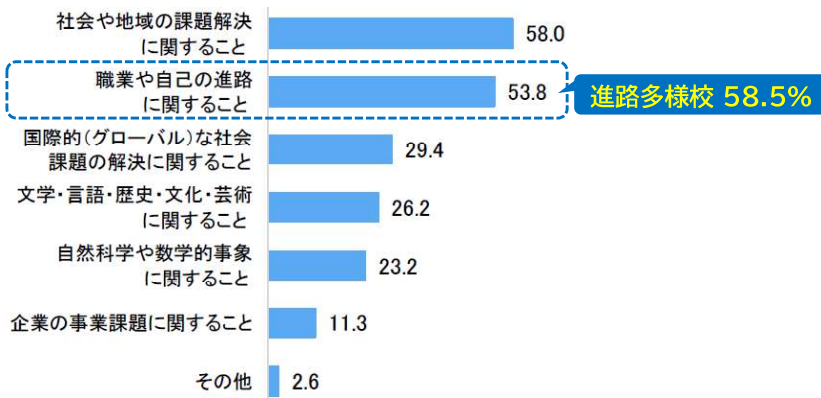


高校教員も『教育力』で学校を評価・判断
どの学校にバトンタッチをすれば、生徒の力を伸ばしてくれるか

ベネッセ教育総合研究所 高等学校の学習指導に関する調査 2021

n=1597

Q：生徒が探究学習で取り上げたテーマは？



進路多様校 58.5%

※複数回答(選択した比率)。
※探究活動を「指導している」と回答した教員のみ回答。

探究学習のテーマは、社会や地域の課題解決に関する事が一番多く、次いで「自己の職業・進路に関する事」が53.8%(進路多様校では58.5%)

ベネッセ学校推薦型・総合型選抜セミナー 事前アンケート(2022年7/22時点)

n=937

早期入試を志望する生徒に対して、「志望理由が言語化できない」と悩む高校教員



高校教員は、生徒の意欲を高めて「志望理由書」を書く指導に課題あり

n = 2,001人

Q：生徒に進路指導するうえでの課題は？

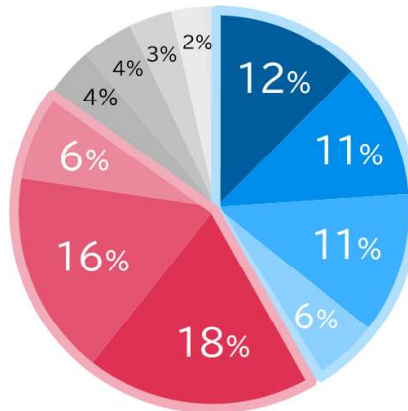
質問項目	進路多様校	中堅校	進学校
進路を決めきれない生徒が多い	83.6%	82.3%	74.9%
努力しないで入れる学校を選ぶ生徒が多い	79.7%	75.4%	36.4%
経済的な理由で希望の進路に進めない生徒が増えた	64.6%	58.1%	23.5%
入試情報が不足している	53.4%	56.0%	46.2%
学校内に進路指導のノウハウが不足している	55.3%	50.4%	29.1%
AO・総合型・学校推薦型選抜の選抜基準がわかりにくい	59.7%	63.7%	65.0%

進路を決めきれない生徒が多いなかで、安易な進学に懸念を持つが、経済的な問題への解決策を含め、進路指導に役立つ情報が求められている



n = 4,408人

退学を考える要因 ▶ 進路研究不足40% / 学力不足40%



- 具体的な将来がイメージできないから
 - 他の分野への興味が湧いたから
 - この職業分野が自分に合わないから
 - 仕事内容の責任が重いから
 - 授業内容が理解できないから
 - 留年の可能性があるから
 - 学校の授業が楽しくないから
 - 身体的な理由のため
 - 経済的な理由のため
 - 友人がいないから
 - 家庭内の事情のため
 - 就職を考えているから
- 合計: 40% (進路研究不足)
合計: 40% (学力不足)

※あなたは現在の学校で、退学を考えたことがありませんか？に対して
①よく考える ②時々考える ③少し考えたことがある
いずれかを回答した学生から選択回答

入学後の退学防止に向けて
進路研究時期に「志望意欲を高める事」「学力を向上させる事」が重要



高校教員
(進路多様校)



思い	生徒に失敗＝進学後の退学は避けたい。その原因の安易な進路選択を避けるため、比較検討による志望校研究を促進させたい。
現状	自己肯定感が低い生徒が多く、成功体験が少ない。
課題	・受験や探究学習で目標設定し、そのための努力をする事。 そのプロセスで、やればできるという成功体験・コツを掴む事。 ・志望校の「志望理由書」を具体的に書ける生徒を増やす事。
対策	積極評価で、生徒の自己肯定感、志望意欲を高める指導
評価する進学先	学生の力を伸ばす教育目標(ビジョンとパッション)があり、「職業意識(職を選ぶ覚悟)」「基礎学力」が向上している専門学校

高校教員は安易な進路選択による進学後の退学は避けたい
受験や探究学習を通じ、そのプロセスの中で進路研究を深めていきたい



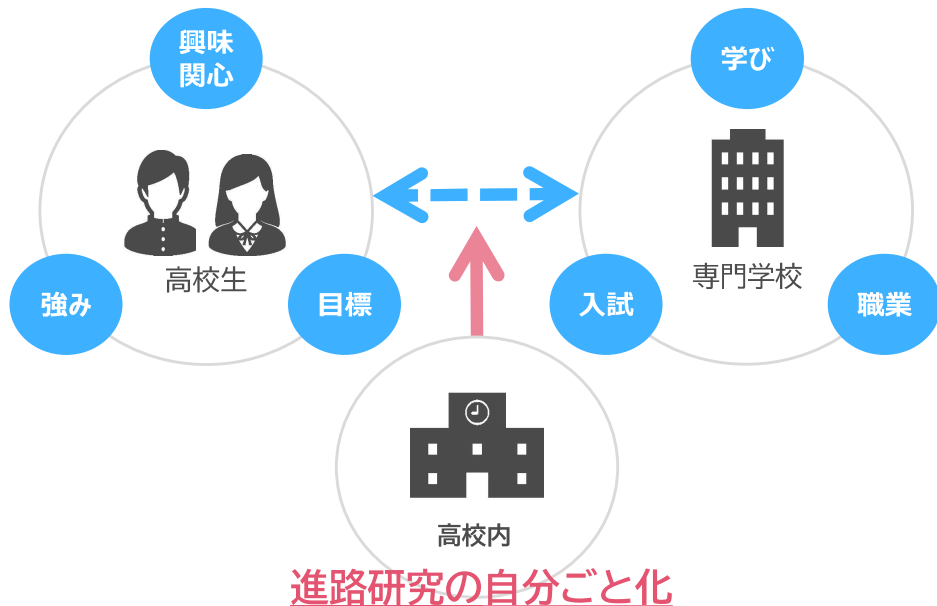
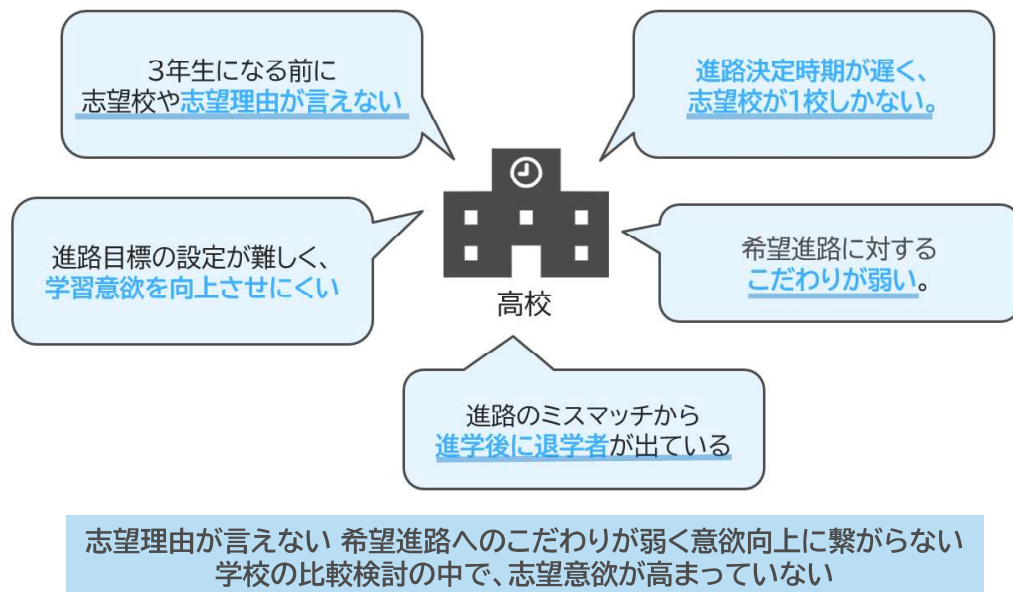
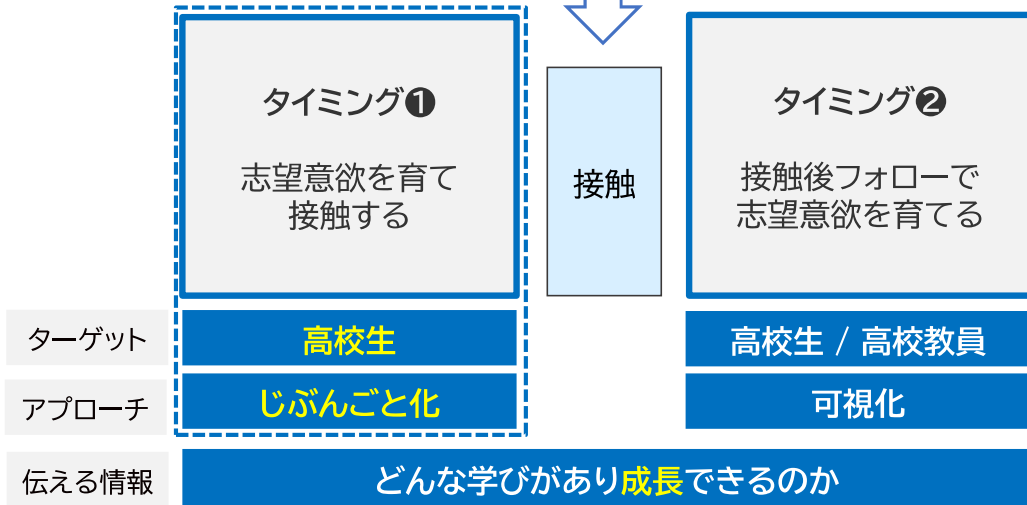
第1部 受験動向 と 考察

第2部 高校生の進路研究のリアル
高校生の視点 / 高校教員の視点

第3部 志望意欲を高める育成型広報
～先進事例と弊社からのご支援～



接触前後で志望意欲を育て、
歩留まりを上げていく



より高いモチベーションをもって
地域の学校に進学し活躍できる人材育成に貢献

学力テスト × 進路達成プログラム

進研模試	3,976校
スタディーサポート	2,514校
進路マップ	2,330校

全国の95%(4,681校)の高校がベネッセグループの学力テストを受検
(2021年度実績)*令和3年度学校基本調査より

●アセスメント採用校数

テストの受験日や結果返却日などで進路研究を行い、自分にマッチした志望校を見つける教育プログラムを提供。

高校生が志望校を広げて、深めて、決めるため 大学・短大・専門学校の教育情報を提供。



高校入学後から自己理解を深め、学校比較しながら志望校研究を行う「進路達成プログラム」を高校内で実施

Step 1 「自分」を知る



WEBで回答する「エンゲージメント診断」を軸にしたワークで自分の強み・こだわりを知る

Step 2 「自分軸」をつくる



大学・短大・専門学校パンフレットを比較研究するワークで活用し、進路選択の自分軸をつくる。2024年度から来校も促進。

Step 3 「じぶんごと」に



自分で決めた志望校を宣言書で言葉にすることで進路選択をじぶんごとにする

3ステップで生徒に進路についての取り組みを促すことで、自分にマッチした進路目標を見つけるプログラムを高校内で実施



マナビジョンは80.2%の高校が活用する、高校生利用率No.1 進路・学習支援サイト

特徴① アセスメント連動

- 『進研模試』年間延べ 3,976校 受検
- 『スタディサポート』年間延べ 2,514校 受検
- 『進路マップ』年間延べ 2,330校 受検

特徴② 高校教員への訴求

担任の先生が活用

テスト受検者が利用

Benesse High School Online

Compass

ベネッセのテストと連携した進路選択の視野を広げる仕組みで、大学・短期大学・専門学校の教育情報を提供し、高校生の「志望意欲」を高める高校教員向けサービスと連携した進路指導の必須ツール

※1 参考：サーバーログより学校別利用集計（調査期間：2021年4月1日～2022年3月31日）

※2 調査時期：2022年5月 / 調査対象・条件：412名大学・短大1年、103名専門学校1年の計515名



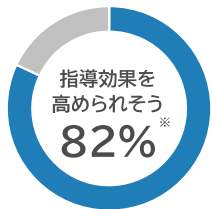
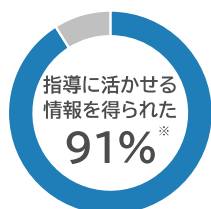
■ベネッセ『進路マップ実力診断テスト』志望校記入状況(高2・10月)

希望順位	進路達成プログラム活用前(全国平均)	進路達成プログラム活用後(A高校)
第一希望	66%	97%
第二希望	51%	96%
第三希望	39%	95%
第四希望	32%	93%

■『進路達成プログラム』の受講を終えた高校生へのアンケート結果

回答	割合
もともと考えていた進路先を詳しく調べることができた	51%
名前を知らなかった進路先を調べることができた	37%
進路先の候補は特に広がらなかった	14%
もともと考えていた進路先から第一目標を変えた	6%

■高校教員の声



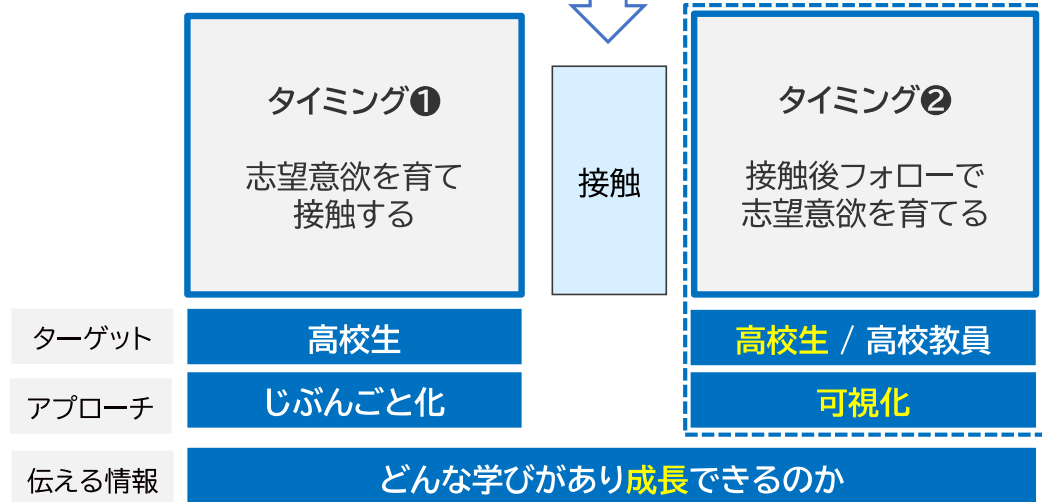
教員の進路指導の負担軽減だけでなく、高校生の前向きな進路選択・学習へつながり、指導の手ごたえアリ



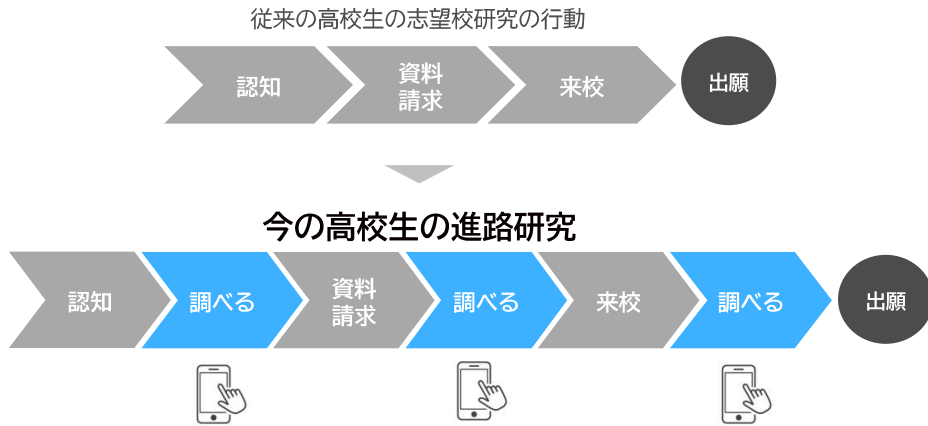
※「おおむね得られた」「ある程度得られた」の合計値



接触前後で志望意欲を育て、歩留まりを上げていく



従来と今の高校生の志望校研究行動の違い



どのフェーズでも中間地点に生徒が「調べる」という動きがあり
オンライン上で追加情報を収集している。
高校生が「調べる」回数、時期、内容を見て、広報すると効果的。



データで見る 志望意欲が高い接触者の傾向

【頻度】 接触頻度と出願の関係

志望意欲が高い層は、
学校HPへの来訪回数が
10回以上

【鮮度】 接触→次回接触までの期間

資料請求から
来校につながるまでの
期間は29日

【興味】 段階別コンテンツ視聴時間

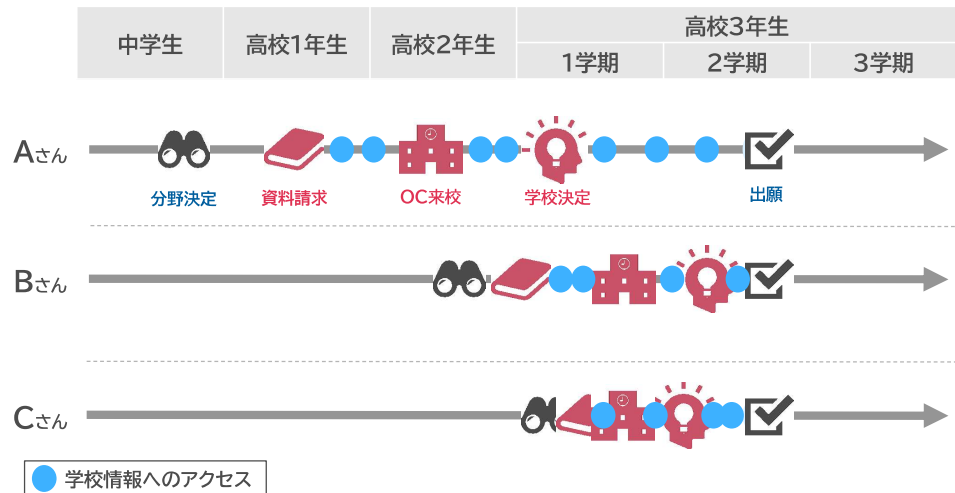
	資料請求時	イベント申込時
募集要項	319秒	133秒
イベント案内	124秒	420秒
学科紹介	303秒	202秒
Q&A	46秒	149秒

検討段階により
閲覧時間の長い
ページは変わっていく

専門学校の接触者は、頻度・鮮度・内容で、
志望意欲が高まっていく傾向



学生募集広報の重要な観点



一人ひとりの適切なタイミングOne to One広報するで、
志望者の複数回接触を促すことが来校・出願率アップにつながる



接触者を一元管理・分析し、育成するOne to One 広報

資料請求者・接触者の
一元管理・分析

接触者(リスト)の
出願に向けた育成

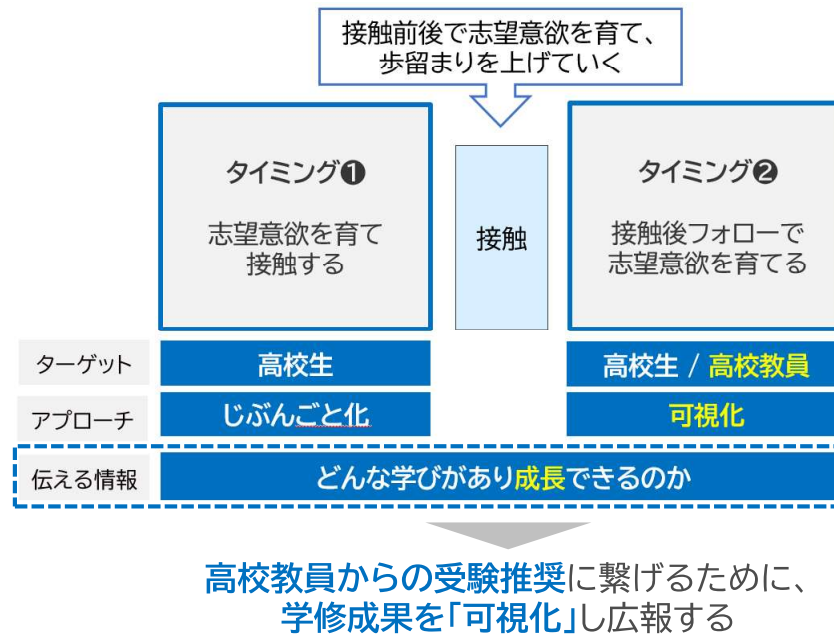




導入1年間の効果例

	来校 (人)			出願 (件)			自動メール配信実績	
	導入前	導入後	伸び率	導入前	導入後	伸び率	送信数	開封率
A校	466	555(+89)	119%	296	356(+60)	120%	248	66%
B校	174	334(+160)	191%	139	160(+21)	115%	12,300	24%
C校	463	746(+283)	161%	687	873(+186)	127%	5,558	34%

アプローチの最適化・効率化により募集の成果にもつながっている



投影のみ



投影のみ



令和5年度 文部科学省委託事業 委託先：株式会社進研アド

文部科学省 令和2～4年度
専門学校における先端技術活用の
普及・定着に向けたワークショップ開催
医療・福祉・高校のキャリア教育で使える
「教育プログラム説明体験会」

こんな方にオススメです！
 ① 学習分野の自主的な学習を奨励している。
 ② OSGE等補助的指導能力試験が受取できる
 トレーニングプログラムが欲しい。
 ③ 専門知識の習得が可能なツールを探している。
 ④ VR教育プログラムを作りたいがノウハウがない。

対象
 ▶ 学校の教職員の方
 ▶ 医療・福祉の現場で働いている方
 ▶ VRを活用した教育に関心のある方

12/8(金) 大阪 14:00-15:30
会場 リファレンス大阪駅前第4ビル 定員20名

12/16(土) 東京 10:00-11:30
会場 学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 定員20名

参加費 無料

申し込み締め切り
講座開始の3日前とさせていただきます。※定員になり次第終了となります。

お問合せはこちら
 学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター
 03-3200-9074
 kaicare@keishin-group.jp
 担当：仲野・渡邊

令和5年度文部科学省委託事業
専門職業人材最新技能アップデートのための
専門学校リカレント教育推進事業

5年後10年後のミライを見据えて

介護×〇〇
現場で活用できる実践力をつけて
マルチタスク型介護職へ！

介護予防 外出支援 介護ICT/DX
マネジメント ナチュラル
ケアラー 多様な人との
かかわり

プログラム期間
2023 12/8(金) ~ 2024 1/25(木)

受講料 無料

対象
 ▶ 介護・医療施設の管理職及び介護職の方
 ▶ 養成校学生(2023年度卒業見込み2年生)及び養成校を卒業した卒業生の方

プログラム内容
 介護・医療分野の現場で活用できる最新技能アップデートのため
 の実践プログラム4種類のうちから、自分の受講したい講座が
 選択できます。

会場
 対面は東京・大阪・神奈川で開催
 ※オンライン受講も可能な講座も多数あります。

各プログラムの
ご予約・詳細は裏面へ

お問合せはこちら
 学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター
 03-3200-9074
 kaicare@keishin-group.jp
 担当：仲野・渡邊

進研アド 専門学校向けWebセミナー オンライン開催

再配信

最新のデータや事例から読み解く！
入試環境の変化と高校生の進路研究
～志望意欲を高める育成型広報～

12/12(火) 1/12(金)
13:00~14:00 13:00~14:00

<https://shinken-ad.co.jp/topics/2023/11/~2023-1.html>

専門学校向けWebセミナー

最新のデータや事例から読み解く
今、求められる中退防止策とは

オンライン開催

12/12(火) 1/12(金)
16:00~17:00

<https://shinken-ad.co.jp/topics/2023/11/~2023-2.html>

進研アド

Between大学経営シンポジウム2024
人口減下での大学経営と改革
～教育力で選ばれるための
高大接続、組織、地域連携、
文科施策活用とは？

2/13(火) 2/16(金) 2/21(水)

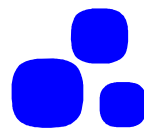
<https://shinken-ad.co.jp/topics/2023/11/between-symposium.html>

本資料の確認、講演をご視聴いただき
誠にありがとうございました



介護の魅力で**学生獲得**

トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭



トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校



1997年開校

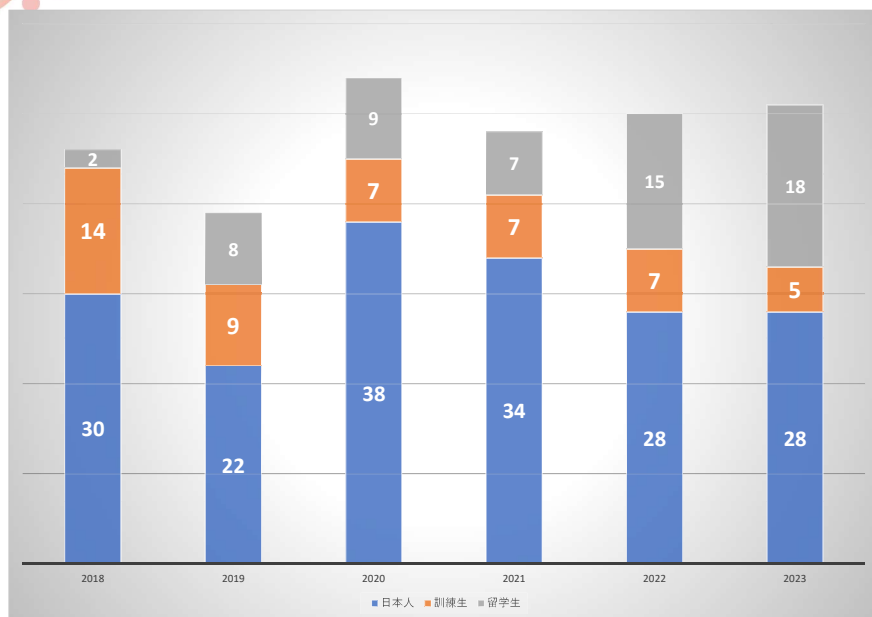
「医療」「福祉」「保健」における
プロフェッショナルな人材を育成!



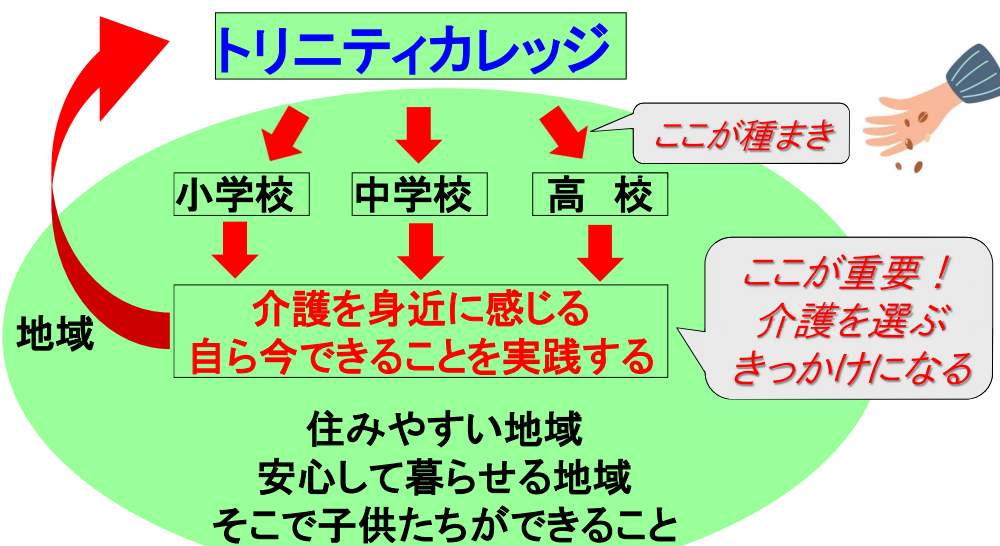
広島市内の中心部に位置し、広島駅から徒歩7分

介護福祉学科
こども保育学科
臨床工学科
+
日本語学科

介護福祉学科入学生内訳



募集戦略 **魅力発信**という種まき





介護プチ講座



上半期小・中・高・大の授業一覧

【小学校】

- 呉市立仁方小学校 3年生44名
- 広島市立八幡東小学校 3年生94名
- 広島市立五日市小学校 3年生133名
- 広島市立神崎小学校 3年生81名
- 三次市立神杉小学校 3年生17名
- 広島市立吉島小学校 3年生43名
- 東広島市立東西条小学校3年生78名
- 広島市立畑賀小学校 3～4年生68名
- 広島三育学院大和小学校3～6年生5名
- 広島市立庚午小学校 4年生142名
- 広島市立東野小学校 4年生148名
- 福山市立柳津小学校 4年生13名
- 府中市立府中明郷学園 4年生23名
- 広島市立湯来南小学校 5～6年生44名
- 広島市立緑井小学校 5年生108名
- 広島市立牛田小学校 5年生202名
- 広島市立黄金山小学校 5年生34名
- 三次市立三和小学校 5年生15名
- 広島市立落合東小学校 6年生74名
- 広島市立畑賀小学校 6年生32名
- 広島市立白鳥小学校 6年生85名
- 広島市立牛田小学校 6年生218名
- 広島市立天満小学校 6年生42名
- 広島市立宇品小学校 職員69名
- 広島市立畑賀小学校 教職員20名
- 広島市立船越小学校 教職員30名
- 広島市立安小学校 教職員30名
- 広島市立牛田小学校 教員50名
- 広島市内小学校校長会 市内校長及び教諭150名

【中学校】

- 広島市立安西中学校 1年生150名
- 広島市立安佐中学校 1年生240名
- 広島市立砂谷中学校1年生21名
- 広島市立植那中学校 1～2年生60名
- 北広島町立大朝中学校 1～3年生31名
- 広島市立吉島中学校 2年生125名
- 大竹市立大竹中学校 2年生102名
- 広島市立五日市観音中学校2年生156名
- 広島市立亀崎中学校 2年生55名
- 広島市立高取北中学校 2年生143名
- 広島市立祇園中学校 2年生397名
- 広島市立白木中学校 2年生30名
- 広島市立城山中学校 2年生100名
- 広島市立可部中学校 2年生182名
- 広島市立船越中学校 2年生55名
- 広島市立瀬野川東中学校 2年生207名
- 広島中等教育中学校 2～3年生236名
- 広島市立美鈴が丘中学校 2～3年生158名
- 庄原市立庄原中学校 3年生127名
- 大竹市立大竹中学校 3年生96名
- 広島市立似島学園中学校 3年生5名
- 広島市立大塚中学校 3年生253名
- 広島市立磯町中学校 3年生95名
- 広島市立祇園東中学校 3年生240名
- 広島市立三和中学校 3年生217名
- 広島市立落合中学校 3年生115名
- 広島市立立坂中学校 3年生223名
- 広島市立仁保中学校 3年生83名
- 広島市立龜山中学校 3年生200名
- 呉市立両城中学校 3年生42名・教職員4名
- 東広島市立八本松中学校 3年生167名
- 廿日市市立廿日市中学校 3年生166名
- 廿日市市立廿日市中学校 3年生166名
- 広島市立日浦中学校 全学年98名
- 広島市立戸山中学校 全学年64名
- 広島市内小学校校長会 市内校長及び教

【高校】

- 広島市立美鈴が丘高等学校1年生240名
- 山陽女学園高等部 1年生25名
- 山陽女学園高等部 1～2年生102名
- 広島県立沼南高等学校 1～3年生75名
- 広島市立広島商業高等学校 2年生176名
- 広島市立美鈴が丘高等学校 2年生70名
- 広陵高等学校 2年生457名
- 広島県立広島工業高等学校 2年生248名
- 広島県立三次青陵高等学校 2年生11名
- 広島県立吉田高等学校 3年生9名
- 広島県立総合技術高等学校 3年生30名
- 広島市立沼田高等学校 3年生8名

【大学】

- 日本赤十字広島看護大学1～2年生190名
- 広島文教大学 3年生130名

小学校 28校 1942人
 中学校 36校 4955人
 高校 12校 1451人
 大学 2校 320人

78校 8668人

中学生・高校生と介護について 将来の夢について語り合う場を作る



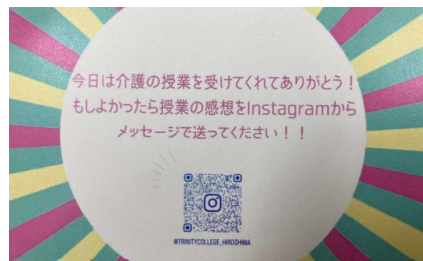
・おばあちゃんが認知症です。できる事ありますか？

・老人ホームのおじいちゃんはもう私のこと分かりませんが、会いに行こうと思います。

・介護福祉士になるために今からしておけばいいことありますか？

・昨日ばあちゃんにスマホの使い方を聞かれて無視してしまったから、今日かえって教えてあげます。

・障害がある弟のことをみんなにかくしていたけど、堂々と話すようになります。



募集戦略②

オモロイことをやろう！

地域イキイキプロジェクト



毎週水曜日の午前中
学びの場が地域になる



トリニティ楽々体操



拠点の学校では地域のお年寄りが集まって
体操やゲーム時には一緒に料理もします。

公園では地域の方と一緒にペタンク



地域の高齢者宅を訪問(リトルヘルパー)



高齢者のお宅でお庭の剪定



将棋の相手もさせていただきます



公民館では折り紙教室



地域の小学校でプチ授業(リトルティーチャー)



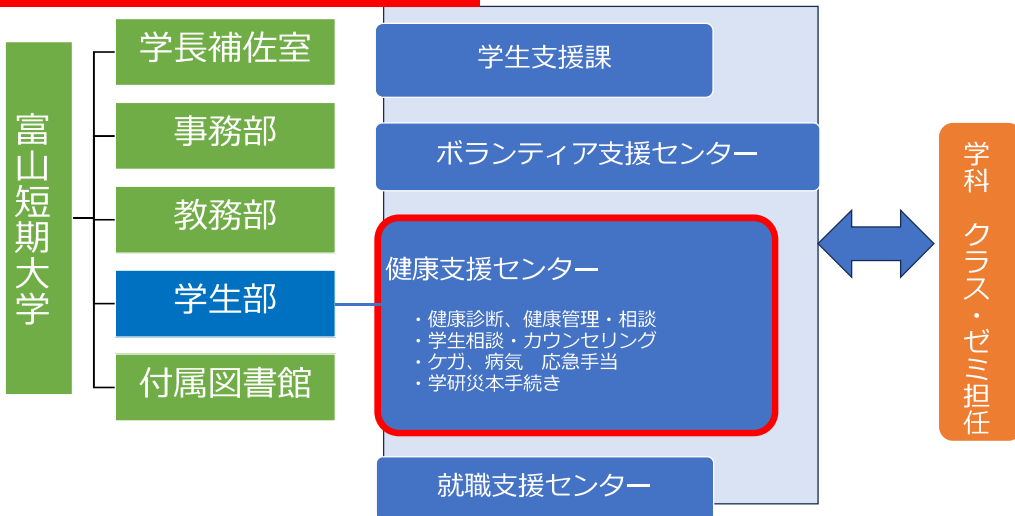
本日の報告

発達障害や精神疾患など生きづらさを感じている学生へ取り組み

富山短期大学健康福祉学科

1. 富山短期大学の学生支援
2. 健康福祉学科の学生支援
3. 支援を必要とする学生
4. Aさんとの関わり

富山短期大学の学生支援



健康福祉学科での学生支援



※教務部・健康支援センターとの連携、情報共有

健康福祉学科の学生支援

本学科のミッション → 人々のWell-beingを支える人材の育成

教職員のミッション → 多様な学生のWell-beingの実現



学生への支援方法の例



介護実習にシャドーイングを導入

シャドーイングとは

- 実習指導者などのお手本となる人(ロールモデル)の後ろを影のようについて同行する学習方法。
- シャドウイングともいう。

ロールモデルとは
役割を担うモデル。お手本となる人。



観察学習(モデリング)

- 自分では直接経験せずに他者の行動を観察することで行動が変化する学習



- 安心して実習に行くことができた
 - 介護の楽しさに出会えた
- 介護福祉士取得希望者の増加
R3 72.0%、R4 89.7%、R5 100%

Aさんとの関わり

	4月	7月	8月	9月	10月	11月	1月	3月
1年生	取り扱い説明書	担任へのSOS	基礎実習	受診結果の報告	授業で自分の障害について告白	フィールドワーク参加	SDGsの行事に参加	発達障害の家族会での話
2年生	本人了解のもと高校訪問	主治医連絡 家族面談	実習指導者との連携(シャドーイング含む)	クラスメイトに告白することへの検討	告白後フォロー	担当者による支援	参加後の相談対応	参加に向けた支援
	進路について検討	授業で発達障害当事者として発言	介護過程実習	進路の決定	総合実習(就職先へ)	手帳申請検討		
	切れない支援	手帳についての相談対応	巡回教員による支援	面談	巡回教員による支援			

Aさんを取り巻く環境の変化

